

子どもたちが身体を動かす楽しさを分かち合う「しもかわっこ」

下川で「好き」や「得意」を活かした取り組みやイベントを紹介するコーナー。
今月は子ども運動遊び「しもかわっこ」を主催・運営する子ども体づくり協会
インストラクターの竹本礼子さんにお話を伺いました。



「しもかわっこ」では、3歳から小学生までの子どもたちを対象に、神経系の発達・発育を促す運動や遊びを週に1回行っています。基礎的な運動能力を得るために、文科学が策定している、幼少期に身につけたい36の基本動作というものを網羅する動きを盛り込んでいます。全部で1時間間のクラスですが、激しい動きや静かな動きも取り入れたり、学校や地域の行事などとの兼ね合いで運動量や内容を調整したりしています。

2015年から「しもかわっこ」を始めて10年以上続けてきましたが、参加してくれる子どもたちの身体の使い方や「しもかわっこ」へのニーズなど、さまざまな変化

がありました。体幹が弱く、椅子に長時間座っていられない子や、障害物を避けて走る反射神経が鈍い子などがめずらしくなくなりました。また、幼稚園生に同伴していた親御さんたちが忙しくなったのか、親同伴が必須の幼稚園世代の子どもたちの参加者数が激減しましたね。各家庭で取り組んでいることや習い事などもあると思いますが、特に小学校に上がる前の子どもたちの基礎体力づくりや運動神経系の発達に刺激を加えていくことに対して、もう少し何かできることがないかなと感じます。

ニーズの変化で言うと、純粹に身体を動かすのが好きな小学1年生以上の子どもたちが増え「しもかわっこ」が家や学校以外の居場所として機能している部分が大きくなってきた気がします。中には苦手な運動に向き合おうと挑戦する子もいるんです。プールの授業が嫌いだった子が、ある日突然「今年は泳げるようになった」と言い出したことがあって。当初は水に顔を



の年の夏の終わりには5メートルくらい泳げるようになりました。「しもかわっこ」では学校の体育の授業とは違って成績表はありません。運動神経だけでなくチームワークや別の能力でも勝てるような運動を通じて、いろんな子に「できた!」という達成感や協力する楽しさも感じてほしい。子どもの頃の基礎体力が、その子の健康な人生の基盤にもなります。少しでも興味があるご家族には、ぜひ見学や無料体験をしにきてほしいです。

しもかわ財団の活動紹介

「つなぎ・ささえ・つくる」

事業承継セミナーを開催しました

事業承継は日本各地の喫緊の課題となっており、最近では事業承継を支援する民間サービスが全国でも複数スタートしたり、国が事業承継に対する支援を拡充するなど社会情勢の変化が起こっています。

下川町でも事業承継は喫緊の課題として町内の支援機関と連携をして取り組んでおり、今回はセミナーとして、事業承継の大手サービス「オーブンネーム事業承継 relay（リレイ）」の江尻様にお越しいただき、事業承継の始め方、各地の現状、北海道内で実際に事業承継した方の生の声などを中心にわかりやすく説明をいただきました。

会場からは、relayの仕組みについての質問や、参加者から事業承継をした際の課題の共有など多くの質問や意見をいただきました。

しもかわ財団では、事業承継について支援を行っております。まだ時間的猶予があるうちに事業承継について行動をとることによって選択肢も多くなりますので、お気軽に早めのご相談をいただけましたら幸いです。



■お問い合わせ

総務企画課 企画調整係 ☎ 4-2511 内線232
しもかわ地域振興機構（通称…しもかわ財団） ☎ 4-3511